

VIVA!クラシック

平成26年度 宇部市芸術祭
第8回 山口県総合芸術文化祭協賛事業

第16回

宇部市民オーケストラ

クラシックの ♪気軽にオーケストラ 午後

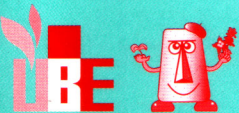
2014年 9月7日(日)

13 開場 / 13:00 開演 / 14:00
宇部市渡辺翁記念会館



●主催 宇部市・宇部文化連盟 ●主管 宇部市民オーケストラ

●後援 宇部市民オーケストラ後援会、(財)渡辺翁記念文化協会、
KRY山口放送、tys テレビ山口、yob 山口朝日放送、FM4 エフエム山口、
朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、宇部日報社、FMきらら、宇部好楽協会、
宇部音楽鑑賞協会



◆プログラム◆

1. ブリテン 青少年の為の管弦楽入門

解説／永谷 青空

2. プーランク バレエ組曲「牝鹿」

..... 休憩

3. グリーグ ホルベルク組曲 「ホルベアの時代より」

4. チャイコフスキー イタリア奇想曲

指揮者プロフィール

Hideaki Matsumura

指揮 松村 秀明 (まつむら ひであき)

洗足学園音楽大学附属指揮研究所マスターコースを修了。
これまでに指揮を秋山和慶、河地良智、増井信貴、湯浅勇治の各氏、ピアノを馬場幸希江、クラリネットを四戸世紀の各氏に師事。

2006～2008年の「アフィニス夏の音楽祭」に指揮研究員として参加、2010年度は新日鉄文化財団により新設された指揮研究員のオーディションに合格し、紀尾井シンフォニエッタ東京で研鑽を積む。第11回アントニオ・ペドロッチ国際指揮者コンクールで第3位入賞。洗足学園音楽大学非常勤講師。



これまでに大阪交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、九州交響楽団、京都市交響楽団、群馬交響楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、東京都交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、広島交響楽団を指揮したほか、読売日本交響楽団の定期演奏会等に副指揮者として度々参加している。2012年にはイタリアのボルツァーノ＝トレント・ハイドン管弦楽団に招かれて3公演を指揮、好評を博す。

ナレーター／永谷 青空

(FMきらら パーソナリティ・シンガーソングライター)

曲 目 紹 介

13 ブリテン作曲 青少年の為の管弦楽入門

作品34 (パーセルの主題による変奏曲とフーガ)

音楽教育映画「オーケストラの楽器」のために、作曲されました。独特のタイトルで有名な曲で、副題は「パーセルの主題による変奏曲とフーガ」。17世紀のイギリスの作曲家ヘンリー・パーセルの主題を用いて、オーケストラに使われている全ての楽器がそれぞれ楽器の特徴を生かした変奏曲を順次演奏していきます。最後は変奏曲の順番通りに全楽器が加わっていく壮大なフーガ。フーガのテーマこそブリテンのオリジナルですが、最後にパーセルの主題と同時に演奏されるクライマックスは、文句なしに感動的です。それぞれの変奏には解説が付いており、オーケストラの各々の楽器を紹介する形になっています。主題と変奏は次のように進展します。

主題A(全合奏)→B(木管群)→C(金管群)→D(弦楽)→E(打楽器群)→A(全合奏)。変奏1(フルートとピッコロ)→変奏2(オーボエ)→変奏3(クラリネット)→変奏4(ファゴット)→変奏5(第1&第2ヴァイオリン)→変奏6(ヴィオラ)→変奏7(チェロ)→変奏8(コントラバス)→変奏9(ハープ)→変奏10(ホルン)→変奏11(トランペット)→変奏12(トロンボーンとチューバ)→変奏13(ティンパニ、大太鼓とシンバル、タンブリンとトライアングル、小太鼓、木魚、木琴、カスタネットとタムタム、鞭)→フーガ

13 ブーランク作曲

バレエ組曲「牝鹿」

バレエ音楽はブーランクが24歳の時の作品で、最初は合唱のパートを含む9曲から成っていましたが、15年後に組曲を現在の形に仕上げました。「牝鹿」というのは、「若い娘たち」「かわいい子」の比喩で、バレエ自体は若い男女の戯れを描いたものです。

第1曲 ロンド

短い序奏に続いて、トランペットとヴァイオリンとで奏する颯爽としたテーマで始まります。シンプルなメロディーが次々に出てきて、楽しい気分を作り出します。

第2曲 アダージェット

コールアンブレ、オーボエ、そしてトランペットのためらうように上下するフレーズで始まります。勇ましい金管楽器に阻まれ、やがて賑やかな音楽になります。また静かな部分に戻って終わります。

第3曲 ラグ・マズルカ

スケルツォにあたる8分の6拍子の速い舞曲的なもの。中間部は短調が主になって付点リズムのメロディーで少し歌謡調になりますが、それがやがて静まると最初のスケルツォに戻ってきます。最後は中間部のフレーズがちょっと思い出されながら毅然として終わります。

第4曲 アンダンティーノ

ヴァイオリンで出る旋律が中心となり、明るい流動感の中に進められます。

第5曲 フィナーレ

急速なタランテラ風の賑やかな曲。これまでの曲を想起させるようなフレーズが次々に登場してきます。最後は金管を中心に全奏で盛り上がり強打音で終わります。

13 グリーグ作曲

ホルベルク組曲（ホルベアの時代より）作品40

ホルベアとは「デンマーク文学の父」とも「北欧のモリエール」とも呼ばれる文学者ルズヴィ・ホルベア（1684年ー1754年）のことです。ホルベアはグリーグと同じノルウェーのベルゲンに生まれ、当時ノルウェーがデンマーク統治下にあったことから、デンマーク王フレゼリク5世のもと、主にコペンハーゲンで活躍しました。ホルベアの生誕地ベルゲンで、生誕200周年となる1884年に記念祭が行なわれることになり、グリーグは、この同郷の先人を記念する祝祭のために無伴奏男声合唱のためのカンタータと、ピアノ独奏のための組曲『ホルベアの時代より』を作曲しました。翌1885年に『ホルベアの時代より』はグリーグ自身によって弦楽合奏のために編曲されましたが、やがてこちらの方が有名になりました。

第1曲:前奏曲

バロックの組曲のスタイルに倣ったため、前奏曲が置かれています。緩急の対照はなく、終始軽快に進められます。

第2曲:サラバンド

三部形式。スペイン起源のゆったりとした三拍子の舞曲です。中間部でチェロのソロが入ります。

第3曲:ガヴォットとミュゼット

フランスの2つの舞曲のスタイルを組み合わせています。またミュゼットならではのバグパイプ独特のドローン音をチェロが模倣しています。

第4曲:アリア

三部形式。唯一の短調による音楽で北欧ならではの憂愁といったものが色濃く感じられるロマンティックな音楽です。

第5曲:リゴードン

三部形式。前の曲とは対照的に、いかにもバロック的な明るい舞曲です。南フランス、プロヴァンス地方を起源とする宮廷舞曲リゴードンによった軽快な終局です。各パートのソロの重奏が、他のメンバーのピチカート伴奏に乗って印象的に奏されます。

13 チャイコフスキー作曲

イタリア奇想曲 作品45

チャイコフスキーは教え子であったアントニーナ・ミリューコヴァとの不幸な結婚の後、かなりの精神衰弱に陥っていたため、気分転換のために弟のモデストと共にイタリアからスイスにかけて旅行をはじめました。そこはすべて暗いロシアとは別の世界であり、イタリアの風土・文化・芸術に魅了され、この曲はそうした旅行中にスケッチされました。「奇想曲」と訳されているように、イタリアの民謡の旋律や舞曲のリズムを基にした自由な形式の音楽で、5つの部分から構成され、それぞれイタリアのムードを楽しめます。

第1部 アンダンテ・ウン・ポコ・ルバート

トランペットとホルネットによる華々しいファンファーレによって開始されます。これはチャイコフスキーが宿泊したホテルに隣接する騎兵隊の宿舎から（毎日）夕方に響き渡る信号ラッパの旋律からヒントを得たものといわれています。この後、表情は急に暗転し、管楽器による3連音符のリズムに乗ってロシア的な性格による流麗な旋律が、弦楽によって奏されます。

第2部 アレグロ・モデラート

管楽器による美しい旋律が歌うように奏され、この旋律を基にした変奏と展開が行われます。

第3部 プレスト

タンブリン、太太鼓、シンバルなど打楽器が派手に活躍する。ここでは民族舞踊であるタランテラが用いられています。

第4部 アレグロ・モデラート

第1部における金管のリズムから開始し、木管と弦楽がアクセントの強い民謡風の旋律を奏します。

終結部 プレスト

生き生きとしたタランテラのリズムによるフィナーレである。イタリアの旋律が次々に現れ、打楽器群が鮮やかな色彩を出し、最後はプレスティッシモの熱狂的な高まりで曲を終えます。

宇部市民オーケストラ

役員・運営委員

団 長：	上野明弘	事 務 局：	清水治子
副 団 長：	濱野妙子、藤野 隆	監 事：	末永俊彦
名誉指揮者：	十川真弓	楽 器：	吉本宗明
コンサートミストリス：	安永 恵	楽 譜：	佐貫政彰、大村康一郎
インスペクター：	藤野 隆	会 計：	青木浩明、橋本紗也佳
マネージャー：	向山尚志		原田典子
ステージマネージャー：	山本 忍	厚 生：	青木浩明
		広 報：	吉本宗明

団 員

◎印コンサートマスター ○印パトリダー

ヴァイオリン	◎安永 恵 ○清水治子 池田芳江 大石正興 坂本直子 佐貫政彰 辻 弓弦 長岡 祥 永本晴美 縄田美言 長谷部 透 松井顕子 三宅亜矢子 村上正俊 藤村由梨(客演) 山口尚子(客演) 山下陽子(客演)
ヴィオラ	○濱野妙子 伊藤紘二 上野明弘 橋本紗也佳 吉本宗明 石森桂子(客演) 飯田幸生(客演)
チェロ	○藤野 緑 栗林宏明 佐伯真理子 濱村和幸 原田圭子 原田典子 山本佐織 山本真田 岸本義輝(客演)
コントラバス	○藤野 隆 鈴木博之 弘中章司 八木政治 武富祐子(客演)
フルート	○鈴木まさ子 高橋聖子 戸田紘平 村田恭子
オーボエ	○宗國敦子 青木浩明 佐伯美乃里 中村香織
クラリネット	○大村真奈美 伊藤しおり 向山尚志 前原隆志(客演)
ファゴット	○小林太郎 伊藤浩太 木村佑子
トランペット	○藤井淳子 東川 剛 藤井晶宏 領野真次(客演)
ホルン	○澤本貴裕 川島朝子 徳永 輝 福田 誠 藤本弥恵
トロンボーン	○山本 忍 大村康一郎 山本麻衣子
チューバ	奥中淳夫(客演)
パーカッション	○貞國泰子 山元紀世子 大江航平(客演) 小川裕雅(客演) 矢内陽子(客演) 領野亜希子(客演)
ハープ	伊藤元子(客演)
チェレスタ	桑原奈緒子(客演)
トレーナー	植木 章(元新日本フィルハーモニー交響楽団クラリネット奏者) 原田大志(元札幌交響楽団コンサートマスター)

◆ 賛助会員 ◆

浅山眼科・東良輝・安部研一・有田千代子・安楽晴義・池田譲二・伊藤千恵子・上田肇・宇部蒲鉾(株)・宇部マテリアルズ(株)・宇部木材(株)・枝廣可奈子・枝広美和・大谷将治・大塚守義・(有)おおの・おさき歯科医院・加藤紘・金丸吉隆・兼安英乗・川戸範雄・神吉ゆかり・共立工業株式会社 二木敏夫・(有)きわなみ薬局・国重一彦・久保田隆昌・黒田和幸・米本久子・近藤実葉・西京銀行 宇部支店・在田淳一郎・在田和子・酒田三男・佐藤育男・佐藤節子・佐藤クリニック・佐藤秀樹・重松昭彦・篠崎圭二・島袋智之・清水芳幸・白石千代・末富一臣・末富秀史・末永俊彦・末山哲英・鈴木紘子・住友生命保険相互会社 瀬戸信夫・第一歯科診療所・高井仁・高田千弘・高村正信・田中聖児・田中忠義・田中典子・田中文代・玉井保生・千葉泰久・辻井純郎・土岡慎也・トモ工業局・ふじおクリニック・中澤晶子・中島医院・中島淳子・中島美代子・永谷政一・中村内科・永谷忠・名和田敏子・名和田洋二・西崎恒子・西村公一・のむら大腸肛門クリニック・羽佐間温子・花田正子・林一枝・東谷和夫・ビューティマリネロ・平田淳・福田信二・福田進太郎・福本嘉代美・フジイ内科医院・藤川三郎・藤田敏彦(富士商(株))・松岡整形外科・松田昌子・みさき薬局山口寿美子・みずほ証券株式会社 宇部支店・三隅洋子・光井一彦・湊典子・明治安田生命保険相互会社 山口支店 宇部新川営業所・森重整形外科・森田純一・守田孝恵・森本浩・師井庸夫・柳井秀雄・柳上俊英・柳田英治・山切睦彦・山口アポロガス 塔野仁三郎・(有)やまさき美容室・山原憲子・山本礼子・吉井純起・よしくに・吉永外科医院・吉本賢良・脇和也・わだ泌尿器科クリニック (敬称略)